

果樹カメムシ情報第3号

平成24年7月17日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除室

果樹カメムシ類の予察灯及びフェロモントラップにおける誘殺数が急増！ 果樹園への飛来に注意してください！

1 発生状況

- (1) 予察灯における誘殺数は、豊橋市、新城市ともに7月上旬に急増しました（図1）。
- (2) フェロモントラップにおける誘殺数は、豊田市、幸田町、豊川市、新城市のいずれの地域でも7月上旬に急増しました（図2）。
- (3) モモ、ナシにおいて、果樹カメムシ類による被害が一部地域で見られます。

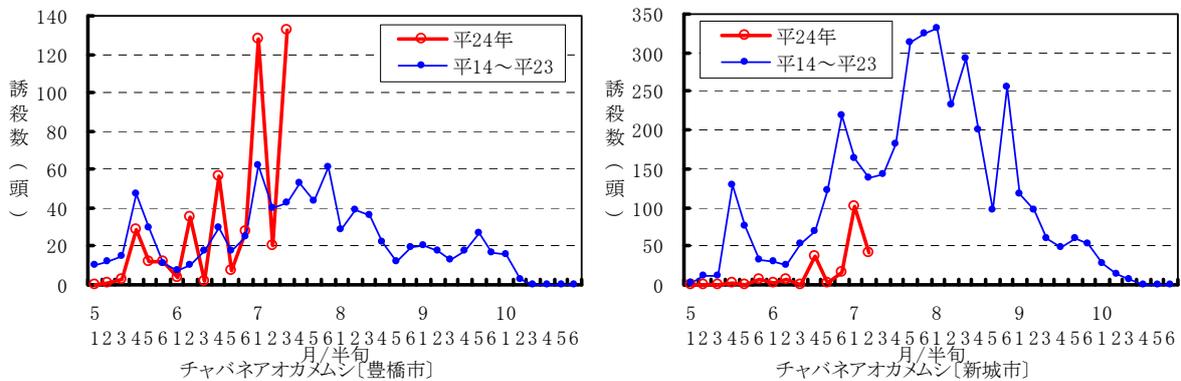


図1 チャバネアオカメムシの予察灯における誘殺数

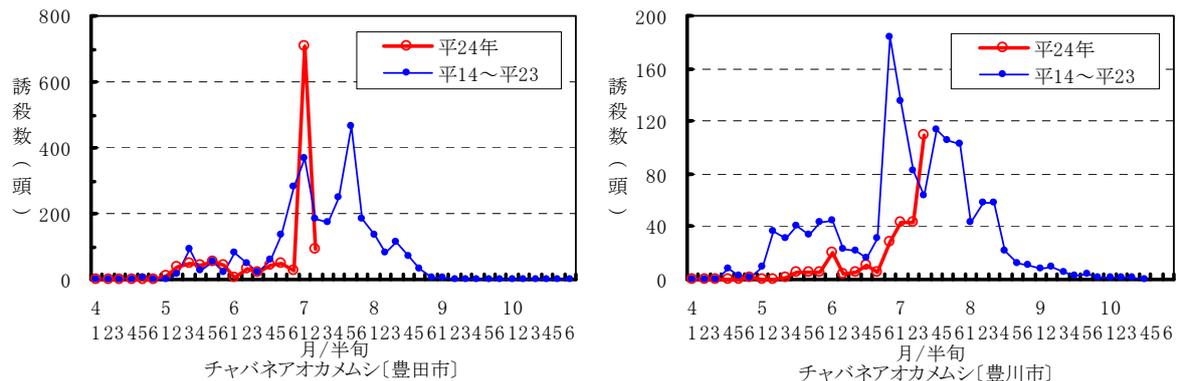


図2 チャバネアオカメムシのフェロモントラップにおける誘殺数

2 今後の発生予測

現在、果樹カメムシ類はスギ・ヒノキ球果を餌として成育していますが、球果がなくなると、果樹園へ飛来してきます。本年は、越冬成虫量がやや多く、餌となるスギ・ヒノキの球果量がやや少ないことから、越冬成虫が餌を求めて果樹園へ大量に飛来するおそれがあります。ほ場での発生状況に十分に注意し、適期に防除しましょう。